

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ
トゥー・ミー

To Me

3

Mar 2023
Vol.334



【ときめき人】
女性木遣会

【今月の表紙】
令和5年登米市二十歳の集い
(関連記事2ページ)

おかえりモネの舞台

登米



令和5年登米市 二十歳の集い

新たな門出を祝うかのような冬晴れに恵まれ、「令和5年登米市二十歳の集い」が1月8日、登米総合体育館で開かれました。

民法改正に伴い、令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられたことから、これまでの式典名称「成人式」を今年から「二十歳の集い」としました。式典には、二十歳を迎えた608人が出席。色とりどりの振り袖やかま、スーツに身を包んだ出席者たちで会場は華やかな雰囲気。学生時代を共に過ごした友人たちと再会を喜び合い、近況報告や思い出話、記念写真を撮影する姿が至るところで見られました。

式典では、熊谷盛廣市長が「皆さんの未来には無限の可能性が広がっています。勇気を持って、さまざまな可能性に挑戦してください」と式辞を述べました。出席者を代表し、誓いの言葉を述べた伊藤由華さん、米山町新田さんと佐藤由華さん、米山町畑崎さんは「これから私たちは、それぞれの人生を歩んでいきます。周りの人々への感謝の気持ちを忘れず、大人としての自覚と責任を持ち、夢や目標に向かって一層努力していくことを誓います」と決意を新たにしました。二十歳という節目を迎えた出席者の皆さんは、さまざまな思いと自覚を胸に、大人としての第一歩を踏み出しました。

愛してくれた人へ感謝と
恩返しをしたい

遊佐 愛さん
迫町山の上



私がこうして無事に二十歳という門出を迎えることができたのは、私を常に支えてくれた家族、切磋琢磨し共に努力してきた学友、温かく見守ってくれた地域の皆さんのおかげです。私に対していつも真剣に向き合い、優しい言葉や厳しい言葉をかけてくれる人がいることは決して当たり前のことではありません。私はこれから私を愛してくれた人への感謝を忘れず、恩返しができるようになりたいと思うとともに、お世話になった人々を愛していきたいと思えます。

私は今、大学に進学し、薬学を専攻し、薬剤師になることを目指しています。生まれ育ったふるさと登米市に貢献できるような、そして社会の一員として皆さんを支えることができるような存在になれるように精進したいと思えます。

私たちの地元「登米市」で活躍している人もいれば、他の地で活躍している人もいます。ですが、私たちの生まれ育った「登米市」をこれからも愛していきたいです。

二十歳の主張

両親のような素敵な夫
婦、尊敬される人に

森 駿天さん
南方町砥落



20年間を振り返ってみると、私は多くの人に恵まれました。幼い頃から大学生となった現在まで、いつも私の周りにはたくさんの方がいて、支えられ、笑わせてくれました。

今、私は作業療法士という職業を目指し勉学に励んでいます。作業療法士は患者さんがその人らしさを取り戻すための支援をします。患者さんとその家族を笑顔にする作業療法士を目指したいと思っています。

私がかっこいい背中とそれを支える母の姿を見てきました。私は胸を張って最高の両親のもとに生まれてきたと言えます。いつか両親のような素敵な夫婦に、尊敬される人になれるように頑張ります。二人へ言葉にできない感謝と愛を伝えたいです。

私たちは二十歳という大きな節目を迎えましたが、社会では経験が浅く、まだまだ未熟です。どうかこれからもご指導よろしくお願います。

Zoom Up Tome

全国大会に出場し、活躍した市内小中高生を紹介します

「全国でリベンジ果たす」

3人の兄が一生懸命に取り組む姿を見て、自分もやってみたいと思い5歳から空道を始めた。空道は、防具を装備し立ち技、組み技、寝技などさまざまな攻撃が認められる総合武道。後ろ回し蹴りや上段回し蹴りを得意とする千葉が臨んだ全国大会、順調に勝ち進み迎えた決勝の相手は、前年惜敗した青森県代表の強豪選手。雪辱を果たすべく、この試合に向けて重ねてきた厳しい練習が実を結び、見事念願の優勝を成し遂げた。「今度こそリベンジしたいと思ってずっと練習してきた。自分の得意技で勝つことができ本当にうれしかった」と笑顔で試合を振り返った。

「来年は全国大会2連覇を目指したい。そして、世界で戦えるような選手になれるように練習を頑張りたい」と今後の飛躍を誓った。



2022秋季全日本空道ジュニア選手権大会
U11女子34kg以下 優勝
千葉 紗空 北方小4年

「父とつかんだ全国優勝」

父と兄の空手をする姿に憧れ、防具付空手を始めた菊田。道場だけでなく家にいるときも父と練習を続け、試合で勝つために技を磨いてきた。県大会を勝ち進み、東京都で行われた防具付空手の日本一を決める大会では、キレのある得意の前蹴りと上段の突きを武器に予選を勝ち進んだ。決勝の相手は、愛知県代表の強豪選手。序盤から両者一歩も譲らない緊迫した状況が続く中、相手の隙を見逃さず上段の突きで技ありを2本取り、全国優勝を決めた。「お父さんと練習してきたことを出し切れて良かった。決勝は難しい試合でしたが、全力で戦うことができ楽しかった」と笑顔を見せた。

「右足の回し蹴りをもっと練習して、これからの大会全てで優勝するつもりで頑張っていきたい」と意欲を見せる。



第60回全国防具付空手道選手権大会
小学2年女子組手の部 優勝
菊田 あさひ 佐沼小



第70回全国小中高児童生徒川開書道展文部科学大臣賞
佐々木仁楠(佐沼中3年)

小学1年の頃、授業で楽しさを知り、書道を習い始めた佐々木。持ち前の集中力で多くの作品を書き続け、技術を身に付けた。「出展する作品の制作時期にいろいろな大会が重なり、苦しんだり泣いたりしたこともあった」と話す佐々木。そのような状況でも、気持ち切り替えながら筆を走らせ、作品「黄龍」を完成させた。「書道は楽しく書くことが一番だと今回の経験で改めて感じました。これからも笑顔で作品に向き合っていきたい」と話した。

「好きなアニメのキャラクターが空手をしていて、そのような強くてかっこいい女の子になりたい」と思い空手を始めた」と笑顔で話す小野寺。何事にも積極的に挑戦する性格で練習にも弱音を吐かず取り組んだ。大会に向け基礎練習に力を入れ、体力づくりに励んだ。大会では順調に予選を勝ち進んだが、決勝では惜しくも敗れ、準優勝となった。「練習の成果を十分に発揮できず悔しかった。小学校最後の大会に向け技術面を身に付けたい」とリベンジを誓った。



第60回全国防具付空手道選手権大会組手小学5年生女子準優勝
小野寺芹奈(柳津小5年)



第66回J.A共済全国小学生書道コンクール半紙の部金賞
第70回全国小中高児童生徒川開書道展準大賞
工藤鈴々(石越中3年)

小学1年の時に、姉の影響で書道を習い始めた工藤。作品に対して真摯に向き合い、試行錯誤をしながら納得がいくまで書き続け、実力を伸ばした。「大会では、自分の満足できる字を書くことができたとでもうれしかった」と笑顔で話す工藤。「今回の結果は今後の自信につながった。これからも練習を積み重ね、より良い作品を書けるように頑張っていきたい」とさらなる高みを目指す。

小学3・4年の総合的な学習の時間で民謡の魅力に触れ、本格的に習い始めた後藤。始めた頃は、歌詞を覚えるだけで精いっぱいだった。練習を重ねる度、感情を込めて人前でも堂々と歌えるようになっていった。「聴く人の心に響くよう、抑揚の付け方や歌詞の勉強にも励んだ」と言う後藤。「本番では、練習の成果を発揮して歌うことができ良かった。これからも民謡を続け、自分の唄を通してたくさんの人に民謡を知ってもらいたい」と目を輝かせる。

第37回さんさ時雨全国大会優秀賞
後藤海歩(米山中3年)



第31回全国小学校バドミントン選手権大会女子ダブルス5年生以下3位
左から
主藤愛結(宝江小5年)
佐藤碧海(加賀野小5年)



2人は塩竈ジュニアバドミントンクラブに所属し、週末は塩竈市で練習に励んでいる。「全国大会という大きな舞台で、普段と違う雰囲気や緊張感の中、お互い声を掛け合って全力で頑張りました」と振り返る。チームでキャプテン、副キャプテンを務める2人は「全国優勝を目指すのはもちろん、自分たちのことだけでなく、チームを引っ張っていけるような選手になりたい」と決意を語った。

Information 01 4月から保健師・栄養士を5ブロックに集約して業務を行います

社会情勢の変化や高齢化が進む中、相談内容や健康課題が多様化し、複数の専門職により対応しなければならない事案が増えています。

そのため、適切な対応と質の高いサービスの提供を目指し、4月から、5つの総合支所に保健師・栄養士を配置するブロック体制により、組織力の強化を図ります。

【問い合わせ】市民生活部健康推進課(地域保健係)
☎0220(58)2116



■新しいブロック体制

ブロック(町域)	担当総合支所	
迫地区	→ 迫総合支所 市民課健康づくり係	☎0220(22)5554
中田・石越地区	→ 中田総合支所 市民課健康づくり係	☎0220(34)2311
東和・登米地区	→ 東和総合支所 市民課健康づくり係	☎0220(53)4113
米山・南方地区	→ 米山総合支所 市民課健康づくり係	☎0220(55)2112
豊里・津山地区	→ 豊里総合支所 市民課健康づくり係	☎0225(76)4113

■4月からの保健活動

- 【育児や健康の相談】石越・登米・南方・津山総合支所については毎週月・水曜日に、保健師などが出向きます。この日以外の相談も、電話や職員が出向いて対応します
- 【窓口業務】健診の申し込みなどは、これまでどおり各総合支所で受け付けます
- 【各種健診】成人検診やがん検診などは、これまでどおり地域ごとに実施します
- 【保健指導や地域支援】保健指導や健康教室などの活動は、これまでどおり各地域に出向いて実施します

Information 03 軽自動車税減免制度と納期限の変更について

軽自動車税の減免申請

身体障害者手帳などを持ち、一定の要件に該当する場合は、軽自動車税を減免しますので、期間内に申請してください。

令和4年度に減免申請を行った人には、3月下旬に減免申請書(継続用)を郵送しますので、必要事項を記入し、税務課まで郵送で提出してください。ただし、次に該当する場合は、手帳の等級、車両の所有者、運転者などの確認のため、申請書類を持参の上、税務課または各総合支所市民課の窓口で申請してください。

- ① 継続申請をする人で、車両や運転者などに変更がある人
 - ② 新たに減免申請をする人
- 【申請書類】▼減免申請書(税務課、各総合支所で配布)▼自動車検査証の写し▼運転者の運転免許証の写し▼身体障害者手帳、戦傷病者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳などの写し▼納税義務者のマイナンバーを確認できるもの(マイナンバーカードなど)
- 【申請期間】4月3日(月)～5月24日(水)(必着)
- 【申請・問い合わせ】▼総務部税務課(市民税係)
☎0220(22)2163

軽自動車税の納期限変更

令和5年度から、軽自動車税(種別割)の納期限が、4月30日から5月31日(休日の場合、翌開庁日)に変わります。納期限の変更に伴い、納税通知書は5月中旬、口座振替で納付した場合の納税証明書は6月12日頃に発送を予定しています。

※軽自動車税(種別割)は、毎年4月1日現在で登録されている軽自動車の所有者に対して課税されます

【問い合わせ】総務部税務課(市民税係)
☎0220(22)2163

Information 04 法務大臣から人権擁護委員に委嘱

佐々木喜代子さん(登米町・再任)、志賀尚さん(豊里町・新任)、金正男さん(石越町・再任)が1月1日付けで、法務大臣から人権擁護委員の委嘱を受けました。

- 人権擁護委員は、人権に関する相談を受け、命の大切さや思いやりの心についての理解を深めてもらうための活動をしています。一人で悩まずにご相談ください。
- 【相談電話】月～金曜日/午前8時30分～午後5時15分
- ▼みんなの人権110番 ☎0570(003)110
- ▼女性の人権ホットライン ☎0570(070)810
- ▼子どもの人権110番 ☎0120(007)110
- 【問い合わせ】仙台法務局登米支局(総務係)
☎0220(52)2070

Information 02

あなたの声を市政にモニターを募集

- 【内容】①市政に対し、建設的な意見や要望などを随時提出
- ②モニター会議への出席
- ③市政についてのアンケート調査などへの回答
- ④市長要請がある会議などへの出席
- 【定数】20人以内
- 【任期】委嘱日から令和6年3月末まで
- 【資格】①18歳以上で、1年以上市内に在住
- ②地方公共団体の職員でない
- ③モニターの職務を積極的に履行できる
- 【応募方法】申込書に必要事項を記入し、総務部市長公室(迫庁舎2階)に持参または郵送、miyagi.jp

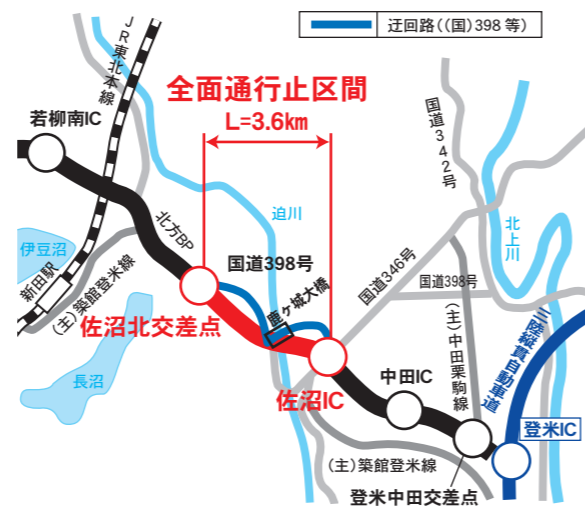


- 【募集締切】3月10日(金)当日消印有効
- 【申し込み問い合わせ】総務部市長公室(秘書総務係)
〒987-0511/登米市 迫町佐沼字中江2-6-1
☎0220(22)2090
☎0220(22)9164
FAX 0220(22)9164
✉ shichokoshitsu@city.tome.miyagi.jp

みやぎ県北高速幹線道路災害復旧に伴う通行止めについて

令和4年3月に発生した福島県沖地震により、市内を通過する「みやぎ県北高速幹線道路」では路面・のり面の亀裂や広範囲にわたる路面沈下のほか、田ノ尻橋の伸縮装置が破損するなどの被害が生じました。このことから、通行車両の走行性改善と安全確保のため、「全面通行止め(終日)」による道路段差解消などの災害復旧工事を実施します。

- 【工事箇所】「佐沼北交差点」から「佐沼IC」間の13箇所
- 【工事内容】舗装亀裂・段差修繕、沈下箇所のかさ上げ、橋梁伸縮装置修繕など
- 【規制状況】全面通行止め(終日)
- 【規制区間】「佐沼北交差点」から「佐沼IC」までの上下線(3.6キロメートル)区間
- 【規制日時】3月1日(水)午前9時～6月9日(金)
- 【問い合わせ】県東部土木事務所登米地域事務所(道路建設班)
☎0220(22)6143



病院事業だより

⑭市立病院における診療放射線室の役割

～市民の皆さんと未来の病院事業と一緒に考えるため、登米市病院事業についてシリーズで紹介します～

■市立3病院における診療放射線室の役割

診療放射線技師は、医師の指示のもと、適切な機器により撮影した画像を提供し、医師の診断に対する補助として重要な役割を担っています。

市立3病院の診療放射線室には、共通設備として一般(エックス線)撮影装置、エックス線TV(透視・造影)装置、CT(コンピュータ断層)装置、骨塩定量検査装置などを設置しています。その他、地域の基幹病院となる登米市民病院には、マンモグラフィ(乳房撮影)装置、MRI(磁気共鳴画像)装置を設置し、各種放射線検査に対応するとともに、地域の医療機関からCT検査やMRI検査の依頼を受けるなど、地域の一次診療にも貢献しています。

また、検査を行う際は、症状や疾病の種類、妊婦や幼児などへの被ばくの影響なども総合的に判断し、適切な機器を用いて撮影を行うとともに、技師は撮影技術の向上を目指し、各種研修への参加などにより日々研さんに努めています。

Interview



市民病院診療放射線室 石丸 昇 診療放射線技師長

登米市民病院では、通常CT検査やMRI検査の画像診断は、東北大学病院放射線診断科に依頼し、おおむね4日

以内に報告書が届きますが、当院の医師が迅速な診断が必要と判断した場合は、365日24時間体制で、契約している遠隔画像診断サービスを使って2時間以内に報告書が届くシステムで運用しています。適切な診断と併せて、早期発見、早期治療につなげられるよう、スタッフ一同が心掛けていきます。

各種撮影装置の紹介



【エックス線TV装置】エックス線を使って、目的部位を直接観察しながら、検査・治療を行うことができます



【骨塩定量検査装置】わずかなエックス線を用いて骨密度を測定し、骨粗しょう症などの状態を測定します



【CT装置とMRI装置】形は似ていますが、CTはエックス線、MRIは磁力と電波を用いて撮影します。それぞれの長所を生かし、撮影する機器を選択しています



【マンモグラフィ装置】乳腺などの微細な病変を検出できる装置です。当院では、最新の機器により撮影した画像を用いて、専門医の適切な診断・治療につなげています

【問い合わせ】登米市民病院管理課 ☎0220(22)5511



呉地 正行

日本雁を保護する会会長
神奈川県出身。絶滅の危機にひんしたガン類の渡りと生息地回復に取り組み、水田の生物多様性の向上や渡り鳥の生息地としての質の向上を目指す活動、湿地を生息地とする鳥類の国際的な保全活動などが評価され、2022年、日本人初のラムサール賞・ワズユース(湿地の賢明な利用)部門を受賞。



大和田 彩可

気象予防士/防災士
岩手県出身。自然災害への関心から、看護師として働きながら気象予報士試験に合格。民間気象会社にてラジオ出演などに携わった後、ウェザーマップに所属。災害情報に加えて、天気の面白さや生活に役立つ健康情報を伝えられる「お天気ナース」を目指す。

本市に広がる豊かな自然は、決して当たり前の風景ではありません。例えば、50年前、絶滅の危機にひんしていたガン類ですが、保護活動の結果、今では本市の冬の風物詩となっています。しかし、地球温暖化が進行すると再びその姿が消えるかもしれせん。本市の貴重な自然を将来に渡って保全していくために、人と自然が共生する地域

づくりについて、一緒に考えてみませんか。
今回、長年にわたりガン類やその生息地の保全などの活動が評価され、昨年ラムサール賞を受賞した呉地正行氏と、「OH!パンデス」お天気コーナーでおなじみの気象予報士、大和田彩可氏を講師に迎え、2部構成で講演会を開催します。入場は無料です。ぜひご来場ください。



【日時】3月12日(日)午後2時
【場所】豊里公民館(中ホール)
【内容】講演第一部「呉地正行氏「命羽ばたく登米の空」ガンとトキに選ばれる里地づくりに」講演第二部「大和田彩可氏「気候変動のいまと未来」みんなの地球を守るために」
【定員】100人
【申込方法】電話、メールまたはファクシミリで申し込みください
【申し込み・問い合わせ】市民生活部環境課(環境政策係) ☎0220(58)5553 ☎0220(58)3345
✉kanky@city.tome.nyagi.jp

下水道の早期接続と排出汚水量の認定制度

下水道に早めの接続を

下水道が整備されている地域に住んでいる人は、下水道に接続することで、家庭内雑排水が直接側溝に流れないため、悪臭などが無くなり、水路や河川の水質が改善します。公共用水域をきれいにし、自然環境を保全するためにも、早めの接続をお願いします。

排出汚水量認定制度

水道水以外(井戸水など)を生活用水として使用している人、下水道に一部のみ接続している人、製造業などの事業を営む人で、水道水の使用量と下水道に流す汚水量が大きく異なる場合は、排出汚水量の認定制度により、下水道使用料を算定します。

排出汚水量の認定申請をする人は「排出汚水量申告書」を提出してください。申告書は、上下水道部経営総務課(市役所登米庁舎1階)に備え付けてあるほか、上下水道部公式ホームページからダウンロード

ドできます。

【排出汚水量の認定制度に該当するケース】
▼水道水以外を生活用水として使用している
▼水道水を次の用途で使用している
①牛や豚などの畜舎で使用している
②出荷用に、年間を通してビニールハウスなどで野菜や花き栽培に使用している
③製造業などで製品に多量の水を使用している
④育苗などで一時的に多量の水を使用している(原則として1カ月分のみ)

※新規の申請は、随時受け付けています
※現在認定を受けている人も、年度ごとに「排出汚水量申告書」の提出が必要です
【申し込み・問い合わせ】上下水道部経営総務課(業務係) ☎0220(52)3311

下水道事業キャラクター「水守(みもる)さん」



水道事業キャラクター「ジョーくん」「スイちゃん」



3月の献血日程

4日(土)
▶イオンタウン佐沼
10:00 ~ 11:45
13:00 ~ 16:30



※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、市公式ホームページをご覧ください。下記まで問い合わせください。

【問い合わせ】
市民生活部健康推進課
(保健推進係)
☎ 0220(58)2116

自殺予防
仙台いのちの電話
誰にも言えない気持ち
聞かせてください。
☎ 022(718)4343

ひきこもり
ひとりで悩まないで
宮城県ひきこもり地域支援センター
☎ 0229(23)0024

子ども夜間安心コール

●電話番号
#8000
(プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)
☎ 022(212)9390
(プッシュ回線以外の固定電話、PHSから)
●相談時間
毎日午後7時~翌朝午前8時

休日・夜間診療案内

休日・夜間診療案内は下記の番号です(24時間対応)
☎ 0229(24)2267

高齢者の肺炎球菌感染症
予防接種を忘れずに

市は、高齢者の肺炎球菌感染症予防接種の定期接種対象者に対し、令和4年3月に予防票(紫色の用紙)を配布しています。この予防票の有効期限は3月31日までです。予防接種を希望する人は忘れずに受けてください。

【対象者】①今年度、65、70、75、80、85、90、95、100歳になる人で今まで一度も肺炎球菌(23価ワクチン)予防接種を受けたことがない人②60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫のいづれかの機能に日常生活が極度に制限される程度の障害がある身体障害者手帳1級相当の人で過去に肺炎球菌予防接種を受けたことがない人

高齢者の相談窓口
地域包括支援センター

高齢化が進む中、家族の介護に専念するために退職する「介護離職」が問題になっていきます。「介護と仕事を両立できるのか」と不安を抱えながら仕事をしている人がいると思います。介護と仕事の両立で心配な時は一人で抱え込まずに相談することが大切です。介護に関する制度や支援など

3月のこころの相談

日	場所・受付時間・担当
6月	南方保健センター 13:30~15:30 精神保健福祉士・学校心理士
	中田保健福祉会館 13:30~15:30 臨床心理士
8月	迫保健センター 10:00~11:00 臨床心理士
14日	米山総合支所 10:00~13:00 臨床心理士・公認心理師

精神科の医師などが相談に応じます。安心してご相談いただくため、完全予約制です。相談日(土日、祝日を除く)まで、お住まいの総合支所まで申し込みください。迫総合支所☎0220(22)5554 登米総合支所☎0220(52)5054 東和総合支所☎0220(53)4113 中田総合支所☎0220(34)2311 豊里総合支所☎0225(76)4113 米山総合支所☎0220(55)2112 石越総合支所☎0228(34)2113 津山総合支所☎0225(68)3114 ※南方町の人は健康推進課まで☎0220(58)2113

登米市民病院小児科救急診療
●日曜日:受付時間9:00~16:30
●夜間:小児(6歳以上)の診察を希望する場合はご連絡ください
【問い合わせ】登米市民病院☎0220(22)5511

3月の休日当番医

日	休日急患当番医	歯科休日当番医
5日	しのはらクリニック(米山町) ☎0220(23)7387	はら歯科医院(米山町) ☎0220(55)3313
12日	千葉医院(迫町) ☎0220(22)3725	布施歯科医院(迫町) ☎0220(22)2048
19日	大坂医院(中田町) ☎0220(34)6625	中江歯科クリニック(迫町) ☎0220(22)7767
21日(祝)	サンクリニック(南方町) ☎0220(29)6060	まつお歯科医院(迫町) ☎0220(28)2311
26日	米谷病院(東和町) ☎0220(42)2007	東和歯科医院(東和町) ☎0220(53)3811

●診療時間 9:00~12:00、13:30~17:00
【休日急患当番医】
●第2次診療 登米市民病院 ☎0220(22)5511
【問い合わせ】登米市医師会 ☎0220(22)2084
※月~金曜日(休日を除く)
【歯科休日当番医】
【問い合わせ】市民生活部健康推進課 ☎0220(58)2116
※当番医は、変更する場合があります。各医療機関に確認の上、受診ください。

石巻市夜間急患センター
●診療科目 内科、外科、小児科 ※原則応急処置まで
診療時間など、詳しくは問い合わせください。
【問い合わせ】石巻市夜間急患センター(石巻赤十字病院敷地内)☎0225(94)5111

高齢者の相談窓口

地域包括支援センター	電話番号
迫地域	0220(22)1152
中田・石越地域	0220(34)7611
石越分室	0228(34)4151
東和・登米地域	0220(53)4811
登米分室	0220(52)5090
米山・南方地域	0220(29)5821
南方分室	0220(58)4311
津山・豊里地域	0225(68)3780
豊里分室	0225(76)4811

を知り、介護と仕事を両立できる環境を整えましょう。心配なことがありましたら、気軽に地域包括支援センターにご相談ください。

【申込期限】3月3日(金)

【参加費】無料
※オレンジリングかサポートカードを持参ください
【申し込み・問い合わせ】福祉事務所長寿介護課(地域包括支援係)
☎0220(58)5551



お酒の悩み
抱えていませんか

アルコールなどの問題を抱える人の家族が、病気の治療や回復の過程、依存症による問題行動への対応について学び合う教室を開きます。

【対象者】飲酒・ギャンブル・薬物など依存症の問題で悩んでいる人の家族

【日時】3月1日(水)午後1時30分~3時

【場所】石巻保健所登米支所

【相談料】無料(要電話予約)

【申し込み・問い合わせ】石巻保健所登米支所(母子・障害

妊娠・出産・子育て
応援します

●わくわくマタニティサロン
妊娠中の生活を快適に過ごし、赤ちゃんを健康に生み育てるための正しい知識を身に付ける教室を開催しています。パパの参加も歓迎します。おじいちゃん、おばあちゃんのための「まごまごコース」も実施します。

【内容】赤ちゃんの沐浴実技、

ベビーマッサージ、孫育てについて

【日時】3月9日(木)午前10時~11時30分(要電話予約)

【場所】迫子育て支援センター

●よりそい・ほっと相談
妊娠中のことや出産、育児について、助産師が個別相談に応じます。

【日時】3月14日(火)午前9時30分~午後3時(要電話予約)

【場所】南方子育てサポートセンター



☎0220(58)2116

ぼくわたしむし歯ないんだよ

3歳6カ月健診でむし歯のなかった子どもたち
1月中に応募があった子どもたちを掲載しています



安藤 琴葉ちゃん (迫町江合) 佐藤 芽依ちゃん (迫町泥内) 千葉陽菜ちゃん (迫町上沢)



山口 結新くん (登米町五郎峯) 伊藤 千智くん (中田町本町畑中) 佐々木瑛絃くん (中田町川面)



千葉 心愛ちゃん (中田町東) 熊谷 湊斗くん (豊里町下町) 服部 柚禾ちゃん (豊里町庚申)



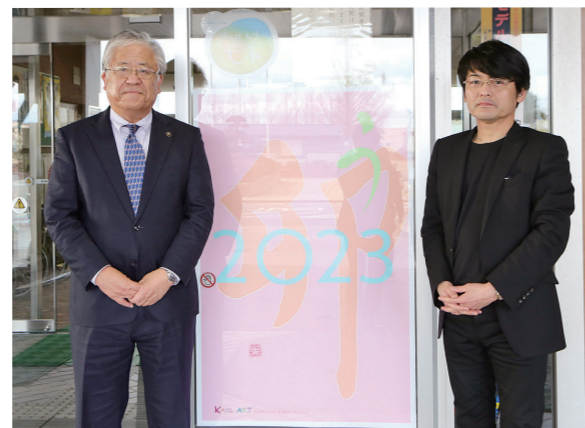
伊藤 晴信くん (米山町斎藤) 佐藤 由絃くん (米山町城内) 鈴木 沙和ちゃん (南方町一ノ曲)

年の初めを彩る作品

オリジナルポスター寄贈

迫町下舟丁出身の書家・デザイナーの日野薫さんが1月16日、市役所を訪れ、今年の干支を題材に自らデザインしたポスターを市に寄贈しました。

日野さんからポスターが贈られるのは今年で11年目。ポスターは毎年市役所迫庁舎の入り口などに掲示し、来庁者の目を楽しませています。日野さんは「新春や新緑を感じられるよう温かで爽やかな色味で仕上げました。見た人に新鮮な気持ちになってもらえたらうれしいです」と話しました。熊谷市長は「私も卯年生まれ。ポスターに描かれた卯の文字を心に刻み飛躍の年としたい」と語りました。



ポスターを寄贈した日野さん(右)。ポスターは市役所迫庁舎の入口に掲示しています。

安全への誓い新たに

消防団など出初式を実施

市交通安全指導隊(工藤見良隊長)、市防犯指導隊(菅原精一隊長)と市消防団(菅原英義団長)が、市民の安全・安心を守る誓いを新たに、出初式を実施しました。

両指導隊の合同出初式は1月7日、中田総合体育館で開かれ、隊員ほか約100人が参加。熊谷盛廣市長らから服装などの点検を受けた隊員は、新年の活動に向けて気持ちを引き締め、結束を高めました。また、消防団の出初式は1月8日、登米祝祭劇場で開かれ、団員約400人が参加。団員らは、地域の防災リーダーとして防災への意識を高めるとともに一年の防火の思いを新たにしました。



消防団出初式で式典後に行われた団員による一斉放水では、大勢の観覧者から歓声が上がりました。

市の未来を想像して

未来新聞コンクール開催

「第15回子どもたちが考える登米市の未来新聞コンクール表彰式」は1月22日、南方農村環境改善センターで開かれ、市内小学校から応募のあった88作品の中から入賞した作品を制作した8グループが表彰されました。

新聞は、自然、農業、食、伝統文化などさまざまなテーマで制作。細やかな情報と自由なアイデアがあふれる素晴らしい作品がそろいました。最優秀賞を受賞した新田小6年の皆さんは、新田駅の歴史や課題、未来へ向けての提案などを1枚の新聞にまとめ、ステージ発表では「私たちの考えた提案が実現して、活気があふれ、人のつながりを感じられる地域になってほしい」と話しました。



小学5年生部門最優秀賞の米川小の皆さん。「大好きな地元の伝統芸能を広く伝えたい」という思いを込めて新聞を作りました。

熟練ガイドがご案内

体験通して魅力を再発見

「みやぎの明治村体験型歴史探訪」(宮城県、とよま振興公社共催)は1月8日、市内の高校生を対象に開かれ、教育資料館や武家屋敷通りなどを巡りました。

歴史探訪は、県制150周年記念事業として、郷土へのさらなる愛着の醸成や地域の魅力の再発見と発信をテーマに企画。参加者は明治時代の衣装を身に付け、教育資料館や地域の歴史について説明を受けた後、春蘭亭で抹茶をたてる体験をしました。とよま振興公社の佐藤康取締役営業部長は「体験を通して若い皆さんに地域の見どころをもっと知ってもらい、魅力ある登米をたくさん発信してほしい」と話しました。



参加者は「登米町の歴史や魅力を知ることができた。この魅力を多くの人に知ってほしい」と話しました。

児童が共生社会学ぶ

宝江小でパラ選手が講義

「あすチャレ！スクール」(日本財団パラスポーツサポートセンター主催)は1月24日、宝江小学校(熊谷みち校長、児童138人)で開かれ、3年の児童20人が北京パラリンピック女子ゴールボール日本代表の高田朋枝氏から出前授業を受けました。

授業はパラスポーツの体験やパラアスリートの講話を通じて障がいに対する理解を深め、自分に何ができるか考える機会とするのが目的。児童は「目隠しをしたら暗くて怖かったので、障がいがあるのは大変なことだと分かりました。みんな平等に仲良くしていけるといいと思います」と話しました。



パラスポーツを通じて楽しみながら障がいということに触れ、自分が明日からできることを考えるきっかけになりました。

厳かに無病息災祈る

佐沼でどんと祭と裸参り

「佐沼どんと祭・裸参り」(登米中央商工会青年部主催)は1月14日、一市・八日町通りなどで開かれ、裸参りには地元の商工会青年部や市内の企業、団体などから54人が参加しました。

どんと祭・裸参りは、地域の活性化や住民の無病息災などを祈ろうと昭和54年から始まり、今年で45回目を迎えました。裸参りに参加したとめ青年会議所の猪股圭太郎さん(33)＝迫町光ヶ丘東＝は「家族が健康に過ごせるようにということと、コロナ禍で中止になったり自粛したりしているイベントの復活を願いました」と話しました。



さらしや白装束姿にたいまつを持った参加者は、平穏な一年を願い、ゆっくり歩みを進めました。



Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication

伊藤 奏多さん

いとう・そうた 豊里中2年
豊里町・下町

食と野菜を守るヒーローに

私の父の実家は、お米や野菜を作る農家です。私は、年に数回父に誘われ、実家の手伝いに行きます。その手伝いは時間を忘れるほど楽しいものです。そんなある日、実家のおじさんから「今は農家をやっている人が少なくなってきた。昔は、ほとんどが農家だったのに…」と話をされました。農家さんがいなければ、毎日のお米だって食べられません。だから私は農家になって、楽しみながらおいしいお米と野菜を作ってみんなを笑顔にしたいです。

私は、農家には史上最強の敵がいると思います。それは「天気」です。農家を支えてくれる強い味方にもなりますが、人や作物に牙をむく時もあります。農家の人にとって作物は大切な子どもです。台風などの時は、そんな子どもたちを守らなければいけません。私は小さい頃、スーパーヒーローに憧れていました。だから、私は将来、食と野菜を守るスーパーヒーローのような農家になりたいです。

Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



近藤 澄空くん(2歳)

2020年10月28日生まれ
中田町・館
秀仁さんの次男

いつもにこにこ元気
いっぱいなそらくん。
大好きなお兄ちゃんと
一緒に伸び伸び大きく
育ってね。



狩野 紬衣ちゃん(1歳)

2021年7月7日生まれ
石越町・遠沢
弘平さんの長女

なんでもまねっこして
好奇心旺盛なつむちゃん。
にこにこ笑顔は家族の癒やしです。元気に
大きくなってね。

佐々木 崇仁くん(3歳)

2019年6月3日生まれ
石越町・第七
崇哉さんの長男

いつも笑顔で、元気
いっぱいなたかちゃん。
鉄道とプラレールが大好きです。これからの
成長が楽しみだね。



遠藤 柚葵ちゃん(2歳)

2021年1月11日生まれ
迫町・五日町
武文さんの次女

リズム遊びと食べることが好きな柚葵。にこにこ
笑顔を毎日ありがと。元気に成長して
ね。



Half Century

寄り添い半世紀

Monthly Hot Communication



佐々木 勝揮さん(83)
元子さん(78)
1966年(昭和41年)
3月入籍
豊里町・鴉波

お互い支え合ってずっと健康に

★出会ったきっかけは

【勝揮】友人からの紹介で知り合いました。妹の同級生だったのでびっくりしました。

★印象に残っている思い出は

【元子】2年前のお正月に孫夫婦に連れられて、松島へ旅行したことです。天気が良く、遊覧船や買い物、観光を楽しむことができました。

★お互いの性格は

【勝揮】明るくて優しい穏やかな

性格の人だよ。

【元子】いろんなことを手伝ってくれる優しい人。困ったことがあるとなんでも相談に乗ってくれます。

★夫婦円満のコツは

【二人】意見が食い違ったときには、しっかり話し合うことが大事ですね。これからも健康を大切に、思いやりの心を持ってお互いに支え合いながら生活していきたいです。

Young

まちの若い衆

Monthly Hot Communication

佐藤 勇さん(23)

さとう・ゆう 石越町・第8区

★身長と血液型 178センチでA型です。

★現在は 米山町で米の集荷販売をしている宮穀に勤めています。仕事は、農家さんと卸売り先の会社との連絡調整や集荷を担当しています。登米市のおいしい米を全国各地の人に知ってもらって食べてほしいという思いで仕事をしています。

★自分の性格 気になること、やってみたいことなどには進んでチャレンジする積極的な性格です。

★趣味は バイクや車でドライブをしたり、スノーボードや釣り、キャンプなどの自然を感じたりすることができるアウトドアが好きです。休日のほとんどの時間を趣味に費やしています。

★好きなタイプは 自分の考えをしっかり持ち、一つのことに熱中できる人がタイプです。お互いの好きなものや好きなことを共有でき、尊重し合える人がいいですね。

★今やってみたいこと マイホームを建てたいです。友達とバーベキューやDIYなどができる場所を造りたいです。

★登米市について一言 米の販売を通して、登米市のさらなる発展に少しでも貢献したいと思っています。



情報場 Information

掲載している情報は、新型コロナウイルス感染症の影響などに伴い変更になる場合があります。

催し

登米懐古館企画展 「JINJIの宝 since1961」

昭和36(1961)年に開館した登米懐古館は、文化財収蔵展示施設としては、県内で仙台市博物館に次いで2番目に開館しました。これは旧登米町名譽町民である渡辺政人氏古希記念事業として、登米懐古館の建築寄贈、同氏所蔵資料のうち登米町関係資料の寄贈申し出に端を発したものでした。以来およそ60年の間、地域の文化財を保存公開し、文化の向上に資するという役割を担ってきました。

昭和、平成という時を経て、令和元年に登米懐古館は登米町寺池桜小路に新築移転しました。本展では、当館の歴史を

夜間納税相談窓口 (3月・4月分)

【日時】3月23日(木)
4月27日(木)
いずれも午後8時まで
【場所】総務部税務課
(迫庁舎1階)
【問い合わせ】
総務部税務課(徴収対策係)
☎0220(22)2169

マイナンバーカード 申請サポート

【日時】3月15日(水)
午前9時30分～午後4時
【場所】南方庁舎2階図書室
【予約・問い合わせ】
市民生活部市民生活課(戸籍係)
☎0220(58)2118

募集

普通救命講習会 受講者募集

救急車が到着するまでの間、適切に応急手当をすることで一人でも多くの人の命を救うことができます。大切な命を救うため、講習会の参加者を募集します。

【日時】3月19日(日)午前9時～正午
【場所】消防防災センター(3階大会議室)
【内容】心肺蘇生法、AED使用方法、止血法など
【受講料】無料
【募集人数】20人(先着順)
※中学生以上の誰でも受講できます

【申込期間】3月1日(水)～12日(日)



救急車が到着するまでの間、適切に応急手当をすることで一人でも多くの人の命を救うことができます。大切な命を救うため、講習会の参加者を募集します。

【日時】3月19日(日)午前9時～正午
【場所】消防防災センター(3階大会議室)
【内容】心肺蘇生法、AED使用方法、止血法など
【受講料】無料
【募集人数】20人(先着順)
※中学生以上の誰でも受講できます

【申込期間】3月1日(水)～12日(日)

【申込方法】電話で申し込みください
※再講習を希望する人も併せて募集しています
【申し込み・問い合わせ】消防署(救急係)
☎0220(22)2119

図書館の雑誌 スポンサー募集

迫図書館・登米図書館・中田図書館の雑誌の購入代金をスポンサーに負担していただくことで雑誌冊数を増やし、利用者サービスの向上を図ります。雑誌(最新号)のカバーにスポンサー名、裏面にはスポンサー広告を掲載します

【募集対象】個人事業主、会社、団体など
【雑誌の選定・期間】購入する雑誌は、図書館が作成する雑誌リストから選定。期間は1年間で、継続できます
【申し込み・問い合わせ】迫図書館
☎0220(22)9820



錦児童館の会員を募集します

●学童クラブ会員
【対象】市内の小学校に通っている児童
【定員】▼錦学童クラブ 30人
▼錦青空学童クラブ 30人
【開設日時】月～金曜日/下校～午後7時/土曜日、夏休みなどの長期休暇/午前7時30分～午後6時
【会費】有料
●幼年クラブ会員
【対象】1～4歳(親子での参加になります)
【定員】1日8組程度
【開設日時】月～金曜日/午前10時～正午
【内容】▼月、火曜日フリー

住宅入居者を募集

中田、東和、豊里、石越定住促進住宅は随時入居者を募集しています。入居希望者は住宅都市整備課まで問い合わせください。
※郵送での申し込みはできません
【申し込み・問い合わせ】
建設部住宅都市整備課(住宅係)
☎0220(34)2316

シルバー人材センター 会員募集

人生100年時代といわれる現代の高齢者が活躍できる場を支援します。

【会員条件】▼健康で働く意欲のある人▼原則60歳以上で登米市に居住する人▼センターの趣旨に賛同する人
【業務内容】室内清掃・受付事務・筆耕・植木剪定・大工仕事・自動車の運転・草取り・草刈りなど
※入会を希望する人は、入会

国家公務員「国税専門官」 (大学卒業程度)募集

説明会に参加ください
●入会説明会
【日時】3月15日(水)午後1時30分
※毎月15日に開催しています
【場所】登米市シルバー人材センター
【申し込み・問い合わせ】登米市シルバー人材センター
☎0220(22)8526

石巻高等技術専門学校 受講生を募集

【訓練科】配管科(短期課程)
【対象者】就職、転職のために本課程の技能、知識を習得しようとする人
【募集人数】5人
【訓練期間】4月18日(火)～9月29日(金)
【費用】作業服、テキスト代約2万5千円(授業料は無料)
【申込方法】ハローワークに入学者書を提出してください
【申込期限】3月3日(金)
【面接選考】3月15日(水)
【選考場所】石巻高等技術専門学校
【申し込み・問い合わせ】石巻高等技術専門学校
☎0225(22)1719



国家公務員
試験採用情報
NAVI



石巻高等技術
専門学校(県公式
ホームページ)

DAIYU HOME CENTER 登米中田店

毎月8のつく日 8日 18日 28日 + 毎週土曜日

春の自転車勢揃い!

自転車ご購入特典

特典1 自転車ご購入のお客様 3ヶ月点検無料

特典2 防犯登録(有料)のお客様 1年盗難補償付

特典3 自転車ご購入につきご不用の自転車 1台無料引取

税抜3,000円以上お買上げで

ポイント5倍

ダイユー・イト 登米中田店案内図 広告

ウジエスーパーさん 398
マツモトキヨシさん
●薬王堂さん
●JAみやぎさん
●中田総合体育館
●登米市立宝江小学校
●ヨークタウン内ダイユー・イト登米中田店

宮城県登米市中田町石森字駒産400
TEL 0220-23-9433

HOME CENTER 営業時間 あさ8時～よる8時まで

確かな技術でまかせて安心 広告

電気工事・オール電化工事・電気通信工事
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検

有限会社 五島電機

登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて...コマネンドリームガス 広告

KUMANEN 熊谷燃料住設株式会社

快適生活創造企業

災害時安定供給施設

■コインランドリー清潔空間 ■BFCクマネン ■備ネオウイング
■なごみの家きらり ■なごみの家きらり ■換気サービス(換)

TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732
http://www.kumanen.jp E-mail:info@kumanen.jp

登米祝祭劇場 3月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
4㊥	<p>●独眼電カミナリ presents お笑い合戦 春の陣 2023 【時間】午後1時30分 【会場】大ホール 【入場料】3800円(4歳以下は膝上の場合無料)</p>	登米祝祭劇場 ☎0220(22)0111
19㊥	<p>●登米ジュニア吹奏楽団 スプリングコンサート 【時間】午後1時30分 【会場】大ホール 【入場料】500円</p>	同楽団 ☎0220(34)3719

※3月の休館日は、6日、13日、20日、27日です
※入場料は前売り価格です
※手洗い、消毒、マスク着用、換気の励行をお願いします
※クラスター発生に対処するため、全てのイベントで、入場者の氏名・連絡先などを記入していただきます
※利用内容により、施設の入場定員が制限される場合があります

ホストファミリーバンク 登録者募集

市は、海外姉妹都市などからの青少年訪問団や、ホームステイを希望する外国人を受け入れる家庭の事前登録制度「登米市国際交流ホストファミリーバンク」の登録者を募集しています。

ホストファミリーに登録して、身近な国際交流を体験してみませんか。

【登録要件】次のすべてに該当する家庭①登録申請しようとする代表者が18歳以上の家庭②世帯人数が2人以上で、世帯全員の同意を得ている家庭③世帯構成員の1人以上が市内に居住または在勤、在学している家庭④宿泊、食事、送迎などの基本的な日常生活の支援を提供できる家庭

【登録方法】ホストファミリーバンク登録申請書に必要事項を記入の上、提出してください。申請は随時受け付けています

※登録申込書は観光シテイプロモーション課に備え付けのほか、市公式ホームページからもダウンロードできます

【受け入れまでの流れ】①市から登録家庭へ受入依頼通知を送付②登録家庭は受け入れの可否を市へ連絡③市で受け入れ可能な家庭と調整し、受入家庭を決定

【申し込み・問い合わせ】まちづくり推進部観光シテイプロモーション課(ふるさと定住係)
☎0220(23)7331

あなたの会社広告を市公用車に

市公用車への広告掲載希望者を募集します。皆さんのお店などの走る広告塔として活用ください。

【対象者】事業所や事務所、店舗などを持つ個人、法人
【申込期間】2月20日(月)～3月8日(水)

【掲載料】1台当たり月額4千円
※複数台は割引引きあり

【申込方法】申込書に必要事項を記入して郵送または持参してください

※申込書は総務部総務課で配布するほか、市公式ホームページからもダウンロードできます

【申し込み・問い合わせ】総務部総務課(財産係)
〒987-0511 / 登米市 追町佐沼字中江2-6-1
☎0220(22)2091

お知らせ

自動車燃料費・タクシー利用費の助成

障がい者の社会参加を促進するため、障がい者の使用する自動車の燃料費とタクシー利用料金の一部を助成します。

障害者自動車燃料助成事業

【対象者】世帯全員の住民税が非課税で、次のいずれかに該当する人①身体障害者手帳1・2級・内部3級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1・2級で自動車を所有し運転する、またはその自動車を障がい者のために運転する同居者②身体障害者手帳下肢3級で自動車を所有し運転する③療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1・2級、18歳未満で身体障害者手帳1・2級・内部3級の人のために自身が所有する自動車運転する同居者※福祉タクシー利用助成事業や透析患者通院費助成事業を利用している人、社会福祉施設入所者、申請時に継続して3カ月以上入院している人、生活保護受給者は対象外

【対象車両】普通自動車、小型自動車、軽自動車のうち4輪

以上のもの ※携行缶など、対象車両以外の給油はできません
【申請手続き】3月1日(水)から、各総合支所で申請を受け付け、自動車燃料費助成券を交付します
【持参するもの】①障害者手帳②運転免許証③「車検証」および電子車検証の場合は「自動車検査証記録事項」④印鑑
【助成券の使い方】給油の際に、助成券(1枚千円)を月2枚まで利用できます
●福祉タクシー利用助成事業
【対象者】世帯全員の住民税が非課税で、次のいずれかに該当する人①身体障害者手帳1・2級②身体障害者手帳3級のうち、呼吸機能障がい者で、酸素濃縮器を常時利用している、または体幹・下肢機能障がい者で車いす移動に限られる③療育手帳A④精神障害者保健福祉手帳1・2級
※障害者自動車燃料費助成事業や透析患者通院費助成事業の利用者は対象外
【申請手続き】3月1日(水)から、各総合支所で申請を受け付け、利用券を交付します
【持参するもの】①障害者手帳②印鑑
【利用券の使い方】タクシー乗車時に利用券(1枚500円)

ねんきんだより

異動時期は国民年金の手続きを忘れずに

年金加入者は、職業などにより、3つの種別に分かれます。20～60歳の間に種別が変わる場合は、届け出が必要です。

【保険料の納付】給料から保険料が天引きになる会社員などと異なり、自営業者、農業従事者、学生などの第1号被保険者は、自分で保険料月額1万6590円(令和5年3月末時点)を納めなければなりません。加入手続き後、納付

書が送付されますので、銀行、農協、信用組合、信用金庫、郵便局、コンビニエンスストアや電子納付などで納めるか、口座振替をご利用ください。収入が無く、納付が困難な場合は、申請によって保険料を免除または猶予する制度があります。学生には、学生納付特例制度がありますので、年金事務所または最寄りの総合支所市民課までご相談ください。

【問い合わせ】
▼古川年金事務所
☎0229(23)1200
▼市民生活部国保年金課(年金医療係)
☎0220(58)2166

■第1号被保険者 (自営業者、農業従事者、学生、無職の人など)		
こんなとき	変更後の種別	届け出先
就職して厚生年金に加入したとき	第2号被保険者	勤務先
第2号被保険者である配偶者の扶養に入ったとき	第3号被保険者	配偶者の勤務先
■第2号被保険者 (会社員、公務員など)		
こんなとき	変更後の種別	届け出先
退職したとき	第1号被保険者	各総合支所市民課
退職して第2号被保険者である配偶者の扶養に入ったとき	第3号被保険者	配偶者の勤務先
■第3号被保険者 (第2号被保険者に扶養されている年収130万円未満の配偶者)		
こんなとき	変更後の種別	届け出先
収入増加などで扶養から外れたとき	第1号被保険者	各総合支所市民課
扶養している配偶者が65歳になったとき	第2号被保険者	勤務先
就職して厚生年金や共済年金に加入したとき	第2号被保険者	勤務先
扶養している配偶者の勤務先が変わったとき	第3号被保険者	配偶者の勤務先

人と環境への新しい優しさを目指して
お気軽にご相談下さい

株式会社 清建 環境プロバイダ

本社/〒987-0511 宮城県登米市追町佐沼字南駒木袋212-3
TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658

有限会社 清建物流
TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535
本社/〒987-0512 宮城県登米市追町森字平柳14-1

仙台(営)/〒989-3127 宮城県仙台市青葉区愛子東三丁目7番2号 広告
TEL.022-799-7213 FAX.022-799-7214

南三陸(営)/〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町入谷字大船沢313
TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122
URL www.kkseiken.co.jp E-mail info@kkseiken.co.jp

有限会社 リースキン宮城
TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495
〒987-0511 宮城県登米市追町佐沼字下田中53番地8

厚生労働大臣許可 指定居宅サービス事業所
有限会社 はさま看護婦・家政婦紹介所
すずらん保育園
TEL.0220-22-8064 FAX.0220-23-2728
〒987-0511 宮城県登米市追町佐沼字中江2丁目21(中江ビル)
【すずらん保育園】TEL.0220-23-8688

一日一組限定の特別な空間



萩

セレモニーホール

市民葬祭 誠香社

24時間受付
0220-34-4856(代表)

春の火災予防運動を 実施します

3月1～7日は、春の全国火災予防運動週間です。火災予防に対する意識を高めて、大切な生命と財産を守りましょう。

■住宅火災を起こさないポイント

▼寝たばこは絶対にしない、させない▼ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する▼ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す▼コンセントはほこりを清掃し、必要なプラグは抜く

■住宅用消火器には使用期限があります

住宅用消火器の使用年数は、おおむね5年です。使用期限を過ぎた消火器は、破裂による事故の危険がありますので、放置せず新しいものに交換しましょう。

■住宅用火災警報器は適正に設置を

住宅火災をいち早く発見するには、住宅用火災警報器が非常に有効です。住宅用火災警報器は台所、寝室、階段の天井面に取り付けましょう。▼月に1回は作動確認をしましょう。製品によって、ボタン

を押すものやひもを引くものがあります▼電池が切れると音やランプで知らせる製品もあります。ほとんどの製品は電池の寿命が10年ですが、早めに交換してください

【問い合わせ】消防本部予防課(予防建築係)

☎ 0220(22)1900



「みやぎ鎮魂の日」に 一斉黙とうを

県は、3月11日を「みやぎ鎮魂の日」と定めています。

市では、東日本大震災で亡くなられた人を追悼し、震災の記憶を風化させることなく後世に伝えていくため、一斉黙とうを実施します。ご理解とご協力をお願いします。

【実施日時】3月11日(土)午後2時46分

【実施方法】コミュニティFM放送のサイレン吹鳴を合図に、一斉黙とうを実施

【問い合わせ】総務部防災危機対策室(危機対策係)

☎ 0220(23)7393

都市部へ木材供給目指す 事業者登録説明会を開催

市は、東京都港区が行っている、国産材の活用促進を通じて森林の二酸化炭素吸収量を増加させる取り組みを推進する「みなと森と水ネットワーク会議」に加入します。港区は、区内に建設する5千平方メートル以上の建築物に使用する木材などを、ネットワーク会議に加入している自治体の登録事業者から受給するとしており、条件によっては登米市内事業者の木材などが供給対象として選定される可能性があります。みなと森と水ネットワーク会議への事業者登録については説明会を開催しますので、登録を希望する事業者はご出席ください。

【日時】3月3日(金)午後1時30分

【場所】市役所中田庁舎(2階201会議室)

【対象】市内に本店を置き、市内産木材を構造成材、内外装材、外構材として港区に供給することができると見込まれる事業者

【申込期限】2月27日(月)

※電話で申し込みください 【申し込み問い合わせ】産業経済部農林振興課(林業振興係)

☎ 0220(34)2709

柳津小と横山小を統合 津山小学校を開校します

市は、学校規模の適正化と教育環境の向上を目指すため、登米市立小中学校等再編構想を策定し、学校の再編を進めています。

津山地域では、柳津小と横山小について、令和元年度に学校の統合の実施などを協議する学校再編準備委員会を、3年度には校名など具体的な事項を協議する開校準備委員会をそれぞれ設置。小中学生の保護者、学校運営協議会、行政区長会の代表者などで、小学校の統合について検討を重ねてきました。その結果、2つの小学校を統合し、令和5年4月に「津山小学校」として開校することが決まりました。

柳津、横山小の開校式は3月18日(土)、津山小開校式は4月7日(金)に開催します。

※関係者のみ出席 【問い合わせ】教育部学校再編推進室(学校再編推進係)

☎ 0220(34)2679

消費税のインボイス制度 に関する説明会

佐沼税務署では、事業者を対象に消費税のインボイス制度説明会および登録申請相談会を開催します。登録申請手続きをサポートする相談会は、希望者を対象に、説明会の後に引き続き行います。

【日時】3月9日(木)午後2時～3時30分、3月23日(木)午前10時～11時30分、午後2時～3時30分

【場所】迫公民館(2階大会議室)

【対象者】主に消費税の免税事業者

【定員】各50人

※開催日の1週間前までに申し込みください

※各回とも定員になり次第、受け付けを終了します

【申し込み問い合わせ】佐沼税務署

☎ 0220(22)2501

自動車、軽自動車の 手続きはお早めに

毎年3月は、名義変更、廃車などの各種手続きや検査申請が集中し、大変混雑します。特に週末や中旬以降は混み合うことが予想されます。申請な

せんでご注意ください

【申し込み問い合わせ】福祉事務所生活福祉課(障がい福祉係)

☎ 0220(58)5552

☎ 0220(58)2375

一人で抱え込まないで 多重債務者無料法律相談

【日時】3月24日(金)午後1時～4時10分

【場所】迫にぎわいセンター

【担当】佐竹孝行(司法書士)

【相談申し込み】

☎ 0220(58)2117

【相談料】無料(要電話予約)

【問い合わせ】市民生活部市民生活課(市民総務係)

☎ 0220(58)2118

3月の納税

後期高齢者保険料・9期

忘れずに納めましょう
納税は便利な口座振替で

納期限 / 3月31日(金)

登米市の人口・世帯数

(令和5年1月末現在)

地区	世帯数	人口(人)			計(前月比)
		男	女		
迫	7,667	9,509	9,971	19,480	(▲37)
登米	1,730	2,127	2,307	4,434	(▲7)
東和	2,234	2,787	2,843	5,630	(▲10)
中田	5,275	7,447	7,695	15,142	(▲31)
豊里	2,134	3,061	3,090	6,151	(▲11)
米山	2,805	4,155	4,230	8,385	(▲11)
石越	1,521	2,201	2,194	4,395	(▲10)
南方	2,718	3,954	4,143	8,097	(▲19)
津山	1,116	1,396	1,543	2,939	(▲6)
合計	27,200	36,637	38,016	74,653	(▲142)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています

市内の交通事故発生状況

(令和5年1月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	R5	R4	増減数
人身事故発生件数	8件	8件	0件
死者数	0人	0人	0人
負傷者数	8人	9人	▲1人
物損事故発生件数	82件	130件	▲48件

※R5年1月からの延べ件数(前年同時期と比較)

警察署からのお知らせ

冬道の安全運転1・2・3運動「1割のスピードダウン、2倍の車間距離、3分早めの出発」積雪・凍結路面では、他の車両の動きに注意し、防衛運転に努めましょう。

1月の災害件数

	火災	救急	救助
令和5年累計	3件(3件)	361件(361件)	0件(0件)
前年同月	2件	316件	5件

※3月は、一年で最も火災が多い時期です。こんろなどの火の元から目を離さないようにし、小さな用心で大きな災害を防ぎましょう。

ハローワークはさまざま発行求人情報
ハローワークはさまざま発行している求人情報を掲載
掲載日は祝日を除く毎週火曜日の午後3時まで

ときめき人

Tokimeki bito



唄声で
心を
つた

メンバー募集中です
佐沼津島神社
Instagram

「女性木遣会」立ち上げメンバーの
若葉舞さん(左)と藤原彩代さん(右)

「木遣唄」は、人力を集結し重い物を動かす際に掛け声や合図として歌われる作業唄。江戸時代、火消しを兼ねるとび職の人たちにより受け継がれたことから消防組織との関係が深く、現在は民謡や祭礼の唄としても広く各地に伝承されている。

火消し文化の継承を重んじながら、地域の活性化を目指し活動を続ける「奥州陸前登米佐沼津島火消し会」(佐藤充会長)。佐沼津島神社所蔵の、およそ100年前の写真に映し出されていた、祭りでの消防団の様子。それを見た会員たちは、当時の消防団法被を復刻させて身にまとい、木遣唄を披露しようと動き出した。2014年、夏祭りで木遣組を発足した火消し会は、どんと祭や地鎮祭などでも唄を奉納。新たな芸能文化を定着させようとして

いた矢先、新型コロナの影響でイベントなどの中止が相次ぎ、活動は暗雲が漂う状況となった。

この課題解決のため立ち上げたプロジェクトが、全国でも数少ない「女性木遣会」だ。「木遣唄は男性が歌うという昔ながらの概念を変え、男女が共鳴し合える当たり前の環境を作りたい。それが地域の活性化につながるはず」市内在住のミュージシャン、若葉舞さんと藤原彩代さんが中心となり、会員は徐々に増えつつある。「挑戦はスタートラインに立ったばかり。練習を重ね、まずは4月の行事での披露を目指します」と話す2人。

佐藤会長は「木遣唄が、地域に愛される文化として根付き、唄い継いでもらえたら」と、希望の光を見る。

編集後記

▼二十歳の集いを取材。会場内は出席者の笑顔であふれかえっていました。私も3年前に「二十歳の主張」を発表したことや、友人と思い出話をしたことを思い返しました。これから夢や目標に進み続ける出席者の皆さんのように、私も気持ち新たに生活していきたいです。(白石)

▼明治村のイベントを取材し、久しぶりに教育資料館に入りました。撮影しながら何気なくのぞいた校長室に校長先生の人形が座っていてドキッとする場面も。とよま観光案内人倶楽部の丁寧なガイドを参加者の脇で聞くことができたので、登米の生い立ちの勉強にもなりました。(佐々木)

▼年々涙もろくなつて、誰かが頑張っている姿や人に感謝を伝える場面を見ただけでほろりとなつちやいます。木遣会の皆さんの「ゆくゆくは子どもたちに防火や文化の大切さを伝えたい」という熱い思いに触れ、目頭が熱くなった今回のときめき人取材でした。(渡邊)



登米市公式ホームページ

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント中止などの情報は市公式ホームページでお知らせしています。) <https://www.city.tomiyagi.jp/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。) <https://mail.cous.jp/tomecity/>

